

国語科学習指導案

令和2年10月 第2学年 指導者 網中 佳穂里

1 単元名 「馬のおもちゃの作り方 おもちゃの作り方をせつめいしよう」

2 学習指導要領上の位置付け

(1) 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。

【知識及び技能 (2) 情報の扱い方に関する事項ア】

(2) 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができること。

【思考力、判断力、表現力等 B書くこと (1) イ】

(3) 説明に必要な事柄や事柄の順序に沿った構成のよさを認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとすること。

【学びに向かう力、人間性】

3 目標

自分の思いや考えが明確になるように、おもちゃの作り方や楽しみ方を説明する文章を書く活動を通して、次の事項を身に付けることができるようにする。

ア おもちゃの作り方や楽しみ方を説明するためには、材料、作る手順、楽しみ方や注意事項などの情報と情報の関係について理解すること。

(知識及び技能)

イ おもちゃの作り方や楽しみ方の説明書を書くために、材料、作る手順、楽しみ方や注意事項などの順序に沿って簡単な構成を考えること。

(思考力、判断力、表現力等)

ウ 説明に必要な事柄や事柄の順序に沿った構成のよさを認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとすること。

(学びに向かう力、人間性等)

4 指導計画 ※別紙参照

5 本時の展開（7/10）

(1) ねらい

必要な情報となるキーワードを基に、言葉や言い方を付け加える活動を通して、おもちゃのイメージが読み手に伝わる文章の書き方を理解できるようにさせる。

(2) 展開

<p>学習活動 ・予想される児童（生徒）の反応</p>	<p>時間</p>	<p>○指導上の留意点 ◎研究上の手立て</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">評価項目<方法（観点）></div>
<p>1 本時のめあてをつかむ。 ○前時までの既習事項を確認する。 ・紹介したいおもちゃを決めたこと ・伝えようシートに、順序に沿って作り方や楽しみ方のメモを書いたこと ・使いたい言葉を見つけて、付箋に書いたこと</p>	<p>10分</p>	<p>○どんな言葉を使うのか、どのように使うのかを、言葉カードを使って発言させ、課題を解決するイメージを全体で共有する。 ○順序を示す言葉は、文の初めに書くように「伝えようシート」で確認する。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>【めあて】使いたい言葉を入れて、おもちゃの作り方・楽しみ方がもっと伝わる文にしよう。</p> </div>		
<p>2 課題を追究するために個で考える。 ○「伝えようシート」に書いてある文に、メモの横に貼った付箋の言葉（メモに付け足したい言葉）を加える。 ・文のどこに使いたい言葉を入れれば、詳しく伝わる文が作れるのかな。</p>	<p>10分</p>	<p>◎読む人が作り方や楽しみ方がより分かる文になるように、2文にしたり、文に合うように助詞を替えたりして加筆させる。 ○作り方や楽しみ方をより具体的にかけるようにするために、付箋の言葉の他に、「見付けた言葉」の一覧を参考にさせたり、実物を見たり触ったりさせる。</p>
<p>3 友達との交流で、課題を追究するための考えを確認し合い、新たな気付きをもつ。 ○加筆した文をペアで読み合いをする。 ・使いたい言葉がうまく入らないけど、どうしたらいいかな？ ・文を二つにするのもいいよ。 ・使いたい言葉が一個しか文の中に入っていないから、もう一個入れると分かりやすくなるよ。</p>	<p>15分</p>	<p>○言葉や言い方を選んで付け足している箇所を見付けさせる。 ○加筆できていない場合には、付箋の言葉を基に、ペアにアドバイスをさせるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>読む人が分かりやすくなるように、作り方や楽しみ方を具体的に示す言葉や言い方を見付けて付け足したり、発言したりしている。 <ワークシート・発言（2）></p> </div>
<p>4 本時のまとめ・振り返りをする。 ○本時の学習について分かったことをめあてと照らし合わせて、ノートに記述する。 ・説明する文の中にどのくらい、どこに、どうやってなどを入れて書くことができた。 ・友達に教えてもらって使いたい言葉を文のどこに入れたらいいかが分かった。</p>	<p>10分</p>	<p>○記述したことを数名に発表させ、前時や次時の学習内容とのつながりを、全体で確認する。</p>

6 板書計画

おもちゃの 説明書を 書こう。

「めあて」・使いたい言葉を入れて、おもちゃの作り方、楽しみ方がもつと伝わる文にしよう。

れい（作り方） ぴょううさぎ

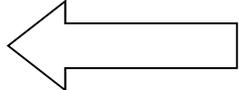
輪ゴムを くつつける。

どのように？ 使いたい言葉は？

リボンみたいに

紙コップの上側に

もつと伝わる文にすると、



まず、輪ゴムを

リボンみたいにねじって、

紙コップの上側にくつつける。

文 順序の言葉をはじめに書く。

「まどめ」・文のはじめに、順序を示す言葉を書く。

文の中に、どのようにするかが分かるような言葉を入れて文を書く。

<p>目標</p>	<p>自分の思いや考えが明確になるように、おもちゃの作り方や楽しみ方を説明する文章を書く活動を通して、次の事項を身に付けることができるようにする。 ア おもちゃの作り方や楽しみ方を説明するためには、材料、作る手順、楽しみ方や注意事項などの情報と情報の関係について理解すること。(知識及び技能) イ おもちゃの作り方や楽しみ方の説明書を書くために、材料、作る手順、楽しみ方や注意事項などの順序に沿って簡単な構成を考えること。(思考力、判断力、表現力等) ウ 説明に必要な事柄や事柄の順序に沿った構成のよさを認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとすること。(学びに向かう力、人間性等)</p>		
<p>評価規準</p>	<p>(1) 材料、作る手順、注意事項、遊び方の順序など情報と情報との関係について理解している。(知識・技能) (2) 「書くこと」において、材料、作る手順、注意事項、遊び方の順序に沿って簡単な構成を考えている。(思考・判断・表現) (3) 事柄の順序に沿って粘り強く構成を考え、学習課題に沿っておもちゃの作り方を説明する文章を書こうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>		
<p>過程</p>	<p>時間</p> <p style="text-align: center;">○ねらい めあて</p>	<p>振り返り(意識)</p>	<p>評価項目 〈方法(観点)〉</p>
<p>つかむ</p>	<p>1 ○説明書を作成する学習計画を立てる活動を通して、学習課題への意欲をもたせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1年生が遊びたくなるようなおもちゃの説明書を書こう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>説明書を書くための計画を立てよう。</p> </div>	<p>・読んだ人が「作り方のイメージができた」と思うような説明書を書きたくなった。</p>	<p>1年生が遊びたくなるようなおもちゃや遊びの作り方の説明書のイメージを膨らませ、説明書を書くことへの意欲をもっている。〈ノート・発言(3)〉</p>
<p>追究する</p>	<p>2 ○教材文を読み、実際におもちゃを作ることを通して、説明文の書き方の工夫に気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>おもちゃを作るために、必要なことを見付けよう。</p> </div> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>1 ○既習の観察記録文と説明文を比較する活動を通して、馬のおもちゃの作り方の説明文の特徴を理解させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>観察記録文と説明文の違いを見付けよう。</p> </div> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>2 ○教材文や体験したおもちゃ作りから作り方を分かりやすく伝える言葉を見付ける活動を通して、説明書を書くときに必要な事柄を、順序に沿って明確にできるようにさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>作り方や楽しみ方がもっとよく分かるようになる言葉を見付けよう。</p> </div> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>1 ○必要な情報となるキーワードをもとに、言葉や言い方を付け加える活動を通して、おもちゃのイメージが読み手に伝わる文章の書き方を理解できるようにさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>使いたい言葉を入れて、おもちゃの作り方、楽しみ方がもっと伝わる文にしよう。</p> </div>	<p>・説明書のはじめ(前書き)、中(材料と道具・作り方)、おわり(楽しみ方やおすすめポイント)を書くことが分かった。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>・文の初めに、順序を示す使い方(まず つぎに それから 今度は 最後に)があると分かった。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>・作り方を分かりやすくするために、数、位置、大きさ、方法などの言葉があることを見付けることができた。 ・自分の作ったおもちゃの作り方の説明に大事だと思うことを使いたい言葉を選んで付箋に書くことができた。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>・作り方や楽しみ方を説明する文の中にどのくらい、どこに、どうやってなどを入れて、わかりやすくなるようにして書くことができた。</p>	<p>説明書のはじめ(前書き)、中(材料と道具・作り方)、おわり(楽しみ方やおすすめポイントなど)に書くことに気付いて、記述したり、発言したりしている。〈ノート・発言(1)〉</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>読み手に手順が伝わるようにする言葉を教科書本文から見付けて書き出したり、発言したりしている。〈ノート・発言(2)〉</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>読み手に正しく詳しく伝わるようにする言葉や表現の仕方を教材文や実際の体験から見付けたり思い出したりして付箋を貼ったり、発言したりしている。〈ワークシート・発言(2)〉</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>読む人が分かりやすくなるように、作り方や楽しみ方を具体的に示す言葉や言い方を見付けて付け足したり、発言したりしている。〈ワークシート・発言(2)〉</p>

	1	<p>○「伝えようシート」を基に清書をする活動を通して、作り方や楽しみ方など、順序に沿った構成が整っている文章を書くことができるようにさせる。</p> <p>説明書を完成しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小さい字で書く「や・ゆ・よ・つ」、「は」「へ」「を」、「、」「。」、カタカナの書き方や使い方が分かった。 	<p>誤字・脱字に気を付けて清書をしている。〈ワークシート(1)〉</p>
	1	<p>○お互いに書いた説明文を読み合う活動を通して、友達の表現のよい所を見つけることができるようにさせる。</p> <p>書いた説明文を友達と読み合い、工夫しているところを見付けよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達は、自分が気付かなかった分かりやすい言い方をしているいいな。今度は、この言い方を自分も使ってみたいな。 	<p>友達の表現のよい点を記述したり、発言したりしている。〈ワークシートに貼った付箋・発言(2)〉</p>
まとめ	1	<p>○単元全体を振り返る活動を通して、今後の日常生活や他教科の学習活動の場でどのように生かしていけそうか、活用してみたいか自分の言葉でまとめさせる。(一般化)</p> <p>単元全体を振り返り、説明文の書き方についてまとめよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめ・中・おわりの組み立ての中にどんなことを書くかよいか分かった。 ・レクリエーションの活動の遊び方の説明やお料理できたよカードの料理の作り方の説明などで、説明文を書いてみたらうまく説明できそうだな。 	<p>今後の日常生活や他教科の学習活動の場でどのように生かしていけそうか、活用してみたいか記述したり、発言したりしている。〈ノート・発言(3)〉</p>